

2018年度年賀寄附金配分事業の報告

当法人は、近年相談員が足りない状況が続いております。相談内容の深刻さが増していることもありますが、相談員の不足もあって、年々受信件数が減っていることは事実です。何とか相談員の増員に繋げるため、多方面にわたり募集努力をした結果、昨年度の応募者に視覚に障がいのある方がおられました。

私共は、相談員になる前なってからも研修を受け続け、その際に様々な文書のやり取りがあります。しかし視覚に障がいのある方にとっては、そのことは最大のネックとなります。ただ、その視覚部分を補うソフトがあり（音声変換）、それを利用することによって、スムーズな活動につながるようになりました。

今回、この音声変換ソフトの導入資金を2018年度、日本郵便株式会社の年賀寄附金事業の配分を受けることにより、実現することが出来ました。

平均、一人の相談員が年間に受ける電話は、およそ100件です。1件でも多くの電話を受けることを願う私共としては、大きな前進であると思っております。

<導入ソフト2種>

